

2023 年度 消費情報環境法学科

小論文

〔自己推薦 A O (A)〕 14-02

注 意

1. 監督者の合図があるまで問題冊子は開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙のきめられた箇所に記入してください。

以下の新聞記事（社説）を読んで、下記の【設問】に答えなさい。

（社説）憲法75年の年明けに データの大海上で人権を守る

米国のグーグル、アップル、フェイスブック（現メタ）、アマゾンはGAFA（ガーファ）と総称される巨大IT企業だ。検索や商品の売買、SNSなどの場をネット上に設けていることから、プラットフォーマーと呼ばれる。

いま、これらと無縁の暮らしをしている人はどれだけいるだろうか。その影響力の大きさから、主権国家にも比すべき「新たな統治者」と呼ばれることもある。

現実の国家の多くが、憲法によって権力の行使を制約され、個人の基本的人権を保障しているのと同じように、巨大IT企業の行動にも、一定の枠をはめ、個人を守るべきだという議論がなされている。

■巨大IT企業 VS. 国家

日本国憲法の施行75年を迎える今年、データの大海上であるデジタル空間のありようをめぐる議論を、より深めたい。

フェイスブックは昨年、社名を変更し、今後は「メタバース」事業に力を入れると発表した。メタバースとは、ネット上の仮想空間で、人々は自分の分身である「アバター」を参加させ、離れたところにいる人どうしが会話をしたり、買い物したりするのだという。同社は、将来は数十億人が訪れる場になるとしている。

憲法学者でAI（人工知能）にも通じる山本龍彦慶應大教授は、この構想について、國家をしのぎかねないプラットフォーマーの力を「リアルに感じた」と語る。

「我々の生活が仮想空間に移る。そこでルールはザッカーバーグ（最高経営責任者）が作る。彼はいわば立法者。民主的手続きを経ていない『法』が我々を拘束することになる。今までの民間権力とは次元が違う」

昨年初め、暴力をあおるトランプ米前大統領のアカウントをフェイスブックとツイッターが凍結した一件も、その当否はともかく、プラットフォーマーが場合によっては表現の自由、ひいては民主主義と衝突する危うさを浮き彫りにした。

その力の源泉は、ネットを通じ、世界中から手に入れている膨大な量の個人情報である。それをもとにしたターゲティング広告や、一人ひとりの「信用力」による格付けなど

は、個人の自由意思を左右し、その人生に大きな影響を与えるかねない。

■ 「個人の尊重」軸に

こうした危うさにいち早く対応しているのが、個人情報の保護を基本的人権と位置づけている欧州連合（EU）だ。2018年に施行した「一般データ保護規則」は、21世紀の「人権宣言」とも呼ばれる。

ある企業が自分のどんな個人情報を持っているかを知る権利、その情報を別の企業に移すことができる「データポータビリティー権」などが定められた。

プラットフォーマーが自動処理で人物像を予測するプロファイリングに対して異議を唱える権利や、ネット上の個人情報を消すことを求める「忘れられる権利」も盛り込まれている。

伝統的に表現の自由を重視してきた米国でも、規制への流れが強まっている。

日本は追いついていない。

一昨年暮れに閣議決定されたデジタル社会の実現に向けた「基本方針」には、「個人が自分の情報を主体的にコントロールできるようにすること等により、公平で倫理的なデジタル社会を目指す」とうたわれた。

しかし、昨年5月に成立したデジタル改革関連法には盛り込まれなかった。「一般的な権利として明記することは適切でない」というのが政府の説明だ。

日本国憲法の核心とされる13条は「個人の尊重」を掲げ、個人が自分に関する情報を自分で管理する権利もここから導き出される。長年の議論が実っていないのがもどかしい。

■ 力ある者の抑制均衡

昨年暮れの衆院憲法審査会では、個人情報の不適切利用や、ネット上の情報操作によって民主主義がゆがめられる危険性などが指摘された。個人情報保護の憲法上の位置づけを明確にすべし、データに関する基本原則を憲法にうたうべし、といった意見も出された。

憲法に書かなくても、個人情報保護法に「自己情報コントロール権」を明示すればいいという考え方もある。

いずれにせよ、国民の「知る権利」とのバランスに留意しつつ、データをめぐる自由と権利を整えていく必要がある。

むろん営利企業としてのプラットフォーマーにも自由は認められなければならず、行き過ぎた規制は避けるべきだろう。多国籍に展開する巨大企業に対峙（たいじ）するには国

際的な連携も必要になる。

一人ひとりの人权を妨げる危うさは、国家にこそ潜在することも忘れるわけにはいかない。国家がデータを集中、独占すればSF的なディストピアが出現する。

何より個人の尊重に軸足を置き、力ある者らの抑制と均衡を探っていかなければならぬ。

(朝日新聞 東京朝刊 2022年1月1日 一部加筆)

承認番号23-1182

※朝日新聞社に無断で転載することを禁じます

【設問】

この新聞記事（社説）について、あなたの感想と意見を述べなさい。

〈参考〉

日本国憲法 第13条 すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

2023 年度 グローバル法学科

小論文

〔自己推薦 A O (A)〕 14-02

注 意

1. 監督者の合図があるまで問題冊子は開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙のきめられた箇所に記入してください。

次の文章を読み、下記の問1および問2に答えなさい。

鉄道サービスの見直し議論が加速しそうだ。JR西日本が〔2022年4月〕11日、採算がとれないローカル線の収支を初公表した。人口減社会で鉄道はどうあるべきか。青山学院大の福井義高教授（会計学）と関西大の宇都宮淨人教授（交通経済学）に聞いた。

■「地域交通の担い手は鉄道」、再考を 福井義高・青山学院大教授

——不採算の鉄道路線を見直す動きが活発になっています。

「まず前提として、輸送サービスは地域にとって重要です。ただ、それを担うのは鉄道でなくても良い。いろんな輸送手段があるなかで、どの組み合わせが最適か考えるべきです」

——鉄道の果たす役割は昔より小さくなっていますか。

「全国で道路が張り巡らされ、各家庭で自家用車を持つようになりました。四国の陸上輸送について推計すると、輸送量の約9割が自家用車によるものという結果が出ました」

——自家用車を持っていない人や、高齢で運転できない人もいます。

「バスでの輸送を充実させれば良いと思います。一人しか乗らなくてもコミュニティーバスを出す地域もあります」

——とはいえ、鉄道はないよりもあった方が便利なのでは。

「それは、日本特有の『鉄道天動説』です。地域交通の担い手は鉄道でなく、自動車やバスでも良いんです。日本は欧米より自動車の普及が遅れ、旧国鉄の影響力が大きかったため、鉄道天動説が根強く残っている気がします。経済合理性がなければ、撤退するのは仕方ない。『公共』というのは国や自治体が支える交通手段という意味ではなく、多くの人が使う『乗り合い』の意味だと考えないといけません」

——線路などの設備の維持管理を国や自治体が担い、運行を民間が担う「上下分離」という方法もあります。

「税金の使い方が合理的かどうかで判断すべきでしょう。通学バスの充実やガソリン代の補助、ガソリンスタンドの維持に税金をあてることで地域交通を保つという考え方もあります。地域の象徴でしかない『モニュメント』として鉄道を残すのは、避けないといけません。人口減でさらに使う人が減り、それこそ負の遺産になります」

■人呼びこめるインフラ考え、投資を 宇都宮淨人・関西大教授

——JR西日本は1キロあたりの1日平均利用者数が2千人未満の路線のあり方を議論したい考えです。

「2千人未満でも、ピーク時には学生らがぎゅうぎゅう詰めで乗っていることもあります。バスや自家用車で代替すれば良いという意見もありますが、輸送力が劣ります。みんなが自家用車に乗り始めると、もっと渋滞します。『脱炭素社会』ともかけ離れていると思います」

——鉄道はなるべく残すべきだということでしょうか。

「鉄道を道路と同じような地域の社会インフラとして見直すのが重要だと思います。国、県、市町村、民間の役割や資金負担のあり方などを、この機会に改めて考える必要があると思います」

「ただ乗客が非常に少なくて、現代の人の流れに沿っていないなら、鉄道にこだわる必要はありません。交通は、その地域社会にとって最も良い姿にしないといけません」

——どんな判断基準で、地域交通のあり方を考えるべきですか。

「税金が少なくて済む方法を選ぶ、という単純な判断はしてはいけないと思います。公共交通の議論はこれまで、コスト削減の視点からばかり語られてきました。でも大事なのは、地域の人たちが最も豊かに暮らせる社会インフラを考える、ということだと思います。どんなインフラがあれば子育て家庭や移住者、観光客を呼びこめるかを考えて、投資すべきです。それが長い目でみれば、地域の発展につながると思います。親の車がないとどこにも行けない地域に、多くの子どもは住まないと思います」

——鉄道の維持に税金を投じることも検討すべきだということですね。

「そもそも同じ社会インフラの道路は、多額の税金を投じています。線路などの維持管理を自治体が担い、運行を民間が担う『上下分離』はひとつの有力な方法だと思います」

(「人口減社会、鉄道のあり方は」朝日新聞2022年4月12日朝刊より。文章は一部改変)

承認番号23-1182

※朝日新聞社に無断で転載することを禁じます

問1 福井義高教授と宇都宮淨人教授のコメントを、それぞれ5~6行程度で要約しなさい。

問2 公共交通の意義について、あなたの考えを書きなさい。

2023 年度 国際学科

小論文

〔自己推薦 A O (A)〕 14-02

注 意

1. 監督者の合図があるまで問題冊子は開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙のきめられた箇所に記入してください。

問題

次の文章を読んで、下の問い合わせに答えなさい。

「開発」という言葉にはうさんくささがつきまとう。

この語はもともと「かいほつ」と読む佛教用語で、悟りを開く能力を内側から開花させるという自動詞的な意味が本来です。しかし日本では、明治期に西洋に追いつくための近代化の中で、上からおこなう事業にこの言葉を使ってきました。日中戦争中の侵略の言い換えとしての「満蒙開発」とか、七〇年代に環境破壊の象徴ともされたスーパー林道建設の「森林開発公団」、長良川河口堰建設の「水資源開発公団」など、人権や環境を押しつぶすものにこの言葉がついていたのですから、うさんくさを感じるのも当然です。

このうさんくささは、英語でも似たところがあります。英語の Development ~ de (外へ) envelop (包む)、中のものを解き放つ~という言葉は、第二次世界大戦後の東西冷戦の中で、アメリカ大統領を先頭にして貧しい国々が共産圏に取り込まれるのを防いでアメリカになびかせるために使われてきました。だからそれに反対する人々も当然います。「開発には何らの中身はないが、一つの機能だけは持っている。あらゆる介入を高い目標の名によって正当化する機能だ」という一文は、このうさんくささが語感の問題ではなくて思想に関係していることを示しています。_(ア)

では、開発はしない方がよいのでしょうか。

三十年以上前、初めてフィリピンを訪れたとき、棚田が天まで届くイフガオの村で子どもたちの笑顔に接して、このままが美しい、開発なんて必要ないのではと私は思いました。私が事務局長をしている NGO 「草の根援助運動」のスタディーツアー参加者も、しばしばそうした感想を口にします。開発に対する疑問を持つ。これを私は「発展途上国と出会う五段階」の第二段階と定義しています。

もちろんこれだけでは終わません。保健衛生の状態は悪いし、教育は不十分で子どもたちの将来も不安だ。環境問題も起きている。問題は山積みで、このままでよいとはやっぱり言えない。なんらかの開発は必要だ。そこに気づくのが第三段階です。ちなみに、第一段階は、かわいそうな人たちを助けてあげたい、自分になにかできるだろう、という良心の段階と定義しています。

第四段階は、その「開発」が誰のためになるのか、他の開発とぶつからないか、地域の開発がより大きな範囲に与える影響はどうなのか、全体からその開発を考える段階です。開発問題にはさまざまな立場やステージが絡み合う、それに気づいて少し高い位置から考えるようになります。たとえば地域にリゾート施設ができて雇用が生まれる、そのことが地域にとってどんな意味があるのかを考えます。

そして最後の第五段階は、そんな途上国の村の問題と自分の身の回りの問題の結びつきに気づく問題共有の段階です。たとえば住民同士の助け合いや労働時間と余暇時間の関係など、実は問題の根は同じだ、と気づくこと。つまり、開発問題は途上国の問題ではなく、人間の生き方の問題にそのまま結びつく、ということに気づく段階です。これは実は二〇〇〇年に立てられた国際的な開発目標 MDGs から、現在の SDGs に至る道筋で世界の人が気づいてきた問題でもあります。開発問題は「途上国」も「先進国」も同じように関わっている。その理解です。

【問1】 下線（ア）の箇所について、どのように理解したかを記しなさい。

【問2】 問題文の著者は、「開発はしない方がよいのでしょうか」という問い合わせに対して、「なんらかの開発は必要だ」と述べている。著者の論を踏まえると、どのような「開発」は望ましくなく、また、どのような「開発」であれば望ましいのだろうか。以下に記す参考文も参照しながら、考えるところを記しなさい。

<参考文>

アメリカ化としての「開発」が全面的に信じられていた六〇年代、全体が豊かになれば貧しい人々の生活も良くなる、という「トリクルダウン仮説」が開発経済学の中でもてはやされていました。いったんは悪くなつてものちに良くなるのだという理論（クズネツツの「逆U字曲線理論」）が、それを補完するものとして引用されました。それが単なる仮説に過ぎなかつたことは現在の開発経済学では常識で、二〇一四年に世界的ベストセラーとなったピケティの『二十一世紀の資本』はそれをさまざまな資料により指摘して話題になりました。どんな指標を見ても、貧富の差はますます開いています。[中略]

一方で、開発は貧困層を減らすことにこそある、というのが、国連開発計画（UNDP）の提唱する『人間開発』です。ここでいう貧困削減とは、お金の問題だけではなく、教育

や健康状態などを改善して人々の生きる選択の幅を広げることです。基本的にこうした方向をめざしていると言えるのが、SDGsにつながる「持続可能な開発」で、その共通の目標として「誰一人取り残さない」とわざわざ言っているのはこれを指しています。ただし、この持続可能な開発という言葉は使われ方の幅が広く、トリクルダウン理論が見え隠れしている場合もあるので注意が必要です。

〔出典〕問題文・参考文とも、かながわ開発教育センター企画『SDGs時代の学びづくり』(明石書店、2021年)。ただし、一部改変し、原文中の注は除いてある。

2023 年度 芸術学科

小論文

〔自己推薦 A O (A)〕 14-02

注 意

1. 監督者の合図があるまで問題冊子は開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙のきめられた箇所に記入してください。

<論題> あなたが芸術学科で学びたい分野（コース）を明示した上で、以下の点について説明してください。

1. まず「芸術」を定義してください。その上で、あなたがこれまでに出会った芸術作品をあげて、その作品のどのような点に感銘を受け、共感したか、またその出会いがあなた自身の芸術観にどのような影響を与えたか、具体的に述べてください。
2. あなたは芸術と社会との間にどのような関わりがあると考えますか。あなたが興味を持つ芸術領域から作品をあげて、具体的に述べてください。

二〇一三年度 教育発達学科

小論文

〔自己推薦AO(A)〕

14-02

注意

- 一. 監督者の合図があるまで問題冊子は開かないでください。
- 二. 解答はすべて解答用紙の決められた箇所に記入してください。

次の文章を読み、後の問い合わせに答えなさい。

子どものなかの宇宙

この宇宙のなかに子どもたちがいる。これは誰でも知っている。しかし、ひとりひとりの子どものなかに宇宙があることを、誰もが知っているだろうか。それは無限の広がりと深さをもつて存在している。大人たちは、子どもの姿の小ささに惑わされて、ついその広大な宇宙の存在を忘れてしまう。大人たちは小さい子どもを早く大きくしようと焦るあまり、子どもたちのなかにある広大な宇宙を歪曲してしまったり、回復困難なほどに破壊したりする。このような恐ろしいことは、しばしば大人たちの自称する「教育」や「指導」や「善意」という名のもとになされるので、余計にたまらない感じを与える。私はふと、大人になるということは、子どもたちのもつこのような素晴らしい宇宙の存在を、少しづつ忘れ去つてゆく過程なのかとさえ思う。それでは、あまりにもつまらないのではなかろうか。

宇宙からの発信

子どもたちの澄んだ目は、この宇宙を見すえて、日々新たな発見をしている。しかし、残念なことに、子どもたちはその宇宙の発見について、大人たちにはあまり話してくれない。うつかりそのようなことをすると、^(A)無理解な大人たちが、自分たちの宇宙を破壊しにかかるなどを、彼らが何となく感じているからだろう。それでも、子どもたちの宇宙からの発信に耳を傾けてくれる大人を見出したとき、子どもたちは生き生きとした言葉で、彼らの発見について語ってくれるのである。

かみさま

やましたみちこ

かみさまはうれしいことも

かなしいこともみなみています

このよのなか

みんないひとばつかりやつたら

かみさまもあきてくるんとちがうかな

かみさまが

かしこいひともあほなひともつくるのは

たいくつするからです

これは小学一年生の詩である。やましたみちこさんの宇宙に存在している神様は、なんと素晴らしい神様だろう。私はこの詩を、現代の世界で、正義のためには戦争も止むなしといきまいている多くのファンダメンタリストたちに見せてやりたい。彼らの神が肩をいからせ、まじりを決して、正義のための大量殺人をも辞せずと言つてゐるとき、やましたさんの宇宙の神様は、見事な自然体で、世のなかいろいろあつていいのじゃないの、とゆつたりと構えてゐるのである。やましたさんは小学校一年生なりに、どうして世のなかには、嬉しいことばかりでなく悲しいことがあつたり、善い人だけでなく悪い人もいるのだろう、と考え続けているうちに、自分のなかの宇宙に存在する、このような神の像を見出したのだろう。

こんな詩を見て、面白いからうちでも作らせようとされてもうまくいくとは限らない。よい詩が生まれるには、その土壤として、あくまで(B)子どもの宇宙に開かれた教師の態度が必要なことを忘れてはならない。

もうひとつ子どもの詩をあげてみよう。小学二年生の詩である。

おとな

中谷実

だれか人がくると
ぼくを見て

「大きなりはつたね」
「もう何年生です」

「こんど三年」

「そう早いもんね、

こないだ一年生やと

思つていたのに」

といつてあたまをなでてくれる

おとなは

みんなおなじことをいう

子どもはそのなかに無限の宇宙をもつてているのに、大人はそれにまつたく気づかず、「みんなおなじことをいう」。「大きなりはつた」と言って頭をなで、大人たちは子どもと「対話」をしたと思つたり、「可愛がつてやつた」と思つたりしてい。しかし、何のことはない。子どもの方はちゃんと大人を観察して、そのステレオタイプを見抜いているのである。子どもの目は透徹して世界を見ている。

フツウのこと

子どもたちの詩があまりに素晴らしいので、多くの人に読んでもらいたいと思い、「職業、年齢を問わずだれにでも、ともかく一度読んでくださいとすすめたくなるような本」ということで、ある雑誌に子どもの詩の本について書いたことがあつた。それを、私のところに心理療法を受けに来ておられる人（成人）が読まれて、次のように言われた。

「それでも、あれはフツウのことでしょう。」

この言葉は私の心に強く響いた。それは、私があの本ができるだけ多くの人に読んで欲しいなどと宣伝しているが、その内容はまったく「フツウ」のことではないか、という意味合いがこめられていた。私はこれに対し、「フツウのことを知らない人があまりに多すぎるのでね」と答えた。本書の執筆にあたって、このエピソードがすぐ心に浮かんできた。それは本書をどのように書くか、いつたい何が書けるのか、という点で反省を強いるのである。

悲痛な叫び

私は心理療法という仕事を通じて、多くの子どもにも大人にも会つてきだし、そのようなことについて報告を受けたり、指導をしたりすることを長年にわたつて続けてきた。そして、私は実に多くの子どもたちが、その宇宙を圧殺されるときに発する悲痛な叫びを聞いた。あるいは、大人の人たちの話は、彼らが子どものときにはどの破壊を蒙こうむつたか、そしてその修復がいかに困難なものであるか、ということに満ちていた。彼らの発する悲痛な叫びや、救いを求める声はまったく無視されたり、かえつて、「問題」だという判断のもとに大人たちからの圧迫を強めるだけに終つたりした。本書を書こうとする私の主要な動機は、のような宇宙の存在を明らかにし、その破壊を防止したいからに他ならない。

宇宙を語ることの難しさ

ところで、私が推薦した子どもたちの詩が、「フツウのこと」だと言った人は、何を言いたかったのだろうか。「子どものなかに宇宙がある」とは、冒頭に述べたことである。しかし、宇宙は途方もなく広いのである。私の家の庭も「宇宙」の一部であるが、何億光年の彼方に存在する恒星も「宇宙」の一部である。宇宙について述べると言つても、私自身の日常生活を語つたとしたら、それは確かに宇宙の話の一部であることは間違いないにしても、それをもつて「宇宙」を語つたというのは、あまりにおこがましいことになるだろう。子どものなかの宇宙も、あまりにも広いものなので、それについてどれだけのことが語れるのか。それに、どれだけ説得力のある論が展開できるか、なかなか自信がもてないのである。

子どもたちの詩集が「フツウのこと」を語っていると言った人は、自分の体験から、子どもの宇宙がもつと広く凄いものであることを知つており、私がそれを知つていながら、あのようにどうして、フツウのことを書いた本を多くの人に推薦するのかという気持をこめて言つてはいる。私はフツウの人間である。ただ、フツウにしては少しフツウでないこともわかる人間として、心理療法などをしているのだが、このフツウでないことを一般の人々に知つていただくのは、あんがい難しいのである。それに「子どもの宇宙」という点に関しては、フツウのことも知らない人があまりに多いので、それについて語るだけで十分という気もしてくる。

それでも宇宙などという大きい題をつけた以上は、少しばかり話さねばならないと思う。ただ、このような話を理解できるようにすることは、なかなか困難なことである。それについて自分がどれほどの能力をもつてゐるか疑わしいのだが、精いっぱい努力してみることにしたい。幸いにも児童文学の名作には、子どもたちの宇宙について素晴らしい記述がなされている。それに、最近では、子どもに対する心理療法の事例も相当に発表されて、多くの素材が提供されている。これらことを用いて、何とかこの大きい仕事に挑戦してみたい。結局のところは、フツウの話になつてしまいそうな予感もあるのだが、その点については、読者の御判断にまかせることにしよう。

大人になること

大人になるということは、子どものときにもつていた素晴らしい宇宙の存在を忘れるのではないか、と先に述べた。実際、われわれ大人もそのなかにそれぞれが宇宙をもつてゐるのだ。しかし、大人は目先の現実、つまり、月給がどのくらいか、とか、どうしたら地位があがるか、とかに心を奪われる所以、自分のなかの宇宙のことなど忘れてしまうのである。そして、その存在に気づくことには、あんがい恐怖や不安がつきまとつたりもするようである。

大人はそのような不安に襲われるのを避けるために、子どもの宇宙の存在を無視したり、それを破壊しようとするのかも知れない。従つて、その逆に子どもの宇宙の存在について、われわれが知ろうと努力するときは、自分自身の宇宙について忘れていたことを思い出したり、新しい発見をしたりすることになる。子どもの宇宙への探索は、おのずから自己の世界

への探索につながっていくのである。このようないいことについても配慮しながら、子どもの宇宙について考えてみることにしよう。

(河合隼雄『子どもの宇宙』※一部改変あり)

問1 傍線部（A）について「宇宙を破壊しにかかる」とはどういうことか。筆者のことばを用いて二〇〇字以上、二五〇字以内で述べなさい。

問2 傍線部（B）「子どもの宇宙に開かれた教師の態度」とは、どういうことか。筆者のことばを用いて一〇〇字以上、一五〇字以内で述べなさい。

問3 あなたは「子どもの宇宙」の周りにいる存在として、どのような大人や、教師でありたいか。これまでの経験や見聞きした具体例を挙げながら、あなた自身の考えを五〇〇字以上、六〇〇字以内で述べなさい。

2023 年度 心理学科

小論文

〔自己推薦 A O (A)〕 14-02

注 意

1. 監督者の合図があるまで問題冊子は開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙のきめられた箇所に記入してください。

設問 現代社会の問題をひとつ取り上げ、以下の3点についてあなたの考えを論じなさい。

- ・その問題はなぜ生じ、続いていると思うか、そこにどのようなこころの働きが影響していると思うか。
- ・その問題の解決に向けて、心理学がどう役立つと思うか。
- ・あなた自身はその問題にどのように取り組みたいか。

2023年度 社会学科

小論文

〔自己推薦AO(A)〕 14-02

注 意

1. 監督者の合図があるまで問題冊子は開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙のきめられた箇所に記入してください。

以下の文章は、社会における格差・不平等の生成メカニズムについての知見を与えてくれると思しき研究についてのエッセイです。これを読み、問い合わせなさい。

本文について、著作権許諾が得られていないため、掲載できません。

本文について、著作権許諾が得られていないため、掲載できません。

本文について、著作権許諾が得られていないため、掲載できません。

本文について、著作権許諾が得られていないため、掲載できません。

(出典：全卓樹『銀河の片隅で科学夜話』(朝日出版社, 2020年)「第11夜 付和雷同の社会学」より冒頭部分と末尾の部分を省略して引用。論及されている論文は M. J. Salganik, P. S. Dodds and D. J. Watts, “Experimental study of inequality and unpredictability in

an artificial cultural market", *Science* 311 (2006) 854-856.)

問い合わせ 下線部での夫人の皮肉に対して、思わず筆者は話をそらしてしまいましたが、あなたならどう答えますか。夫人に同感して、このような研究の意義に対して懐疑的な意見を述べても良いですし、逆に筆者がすべきであったはずの、このような研究をすることの意義について説明するのでも良いでしょう。どちらにしても根拠を明らかにした上で、あなたなりの見解を提示してください。ただし、ただ単に科学的研究の意義についての一般論を提示するのではなく、この研究の主題である、社会における不平等や、「付和雷同」の問題についても意識した上でお願いします。

2023 年度 社会福祉学科

小論文

〔自己推薦 A O (A)〕 14-02

注 意

1. 監督者の合図があるまで問題冊子は開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙のきめられた箇所に記入してください。

以下の文章を読んで、間に答えなさい。

貧困者はもう十分「自立的」であり、それが問題なのだ

こうして、戦後日本の貧困の「かたち」は、戦後の日本社会を映す鏡のようなものであった。特に、（中略）自発的な脱貧困への努力（したがって、貧困への否定的なレッテル貼りの強さ）と、貧困を覆い隠す企業や市場の装置の強大さは、いわばペアになって、貧困をつねに個人が対処すべき領域に引き戻し、また市場の装置に吸い込んでいく日本的構図を形成してきたといってよい。不安定な就労から就労へと渡り歩き、あるいは売血や借金を繰り返す等、人びとにとっての貧困はつねに自らの個人的な努力で対処すべきものとされてきた。貧困に対する多様な政策があっても、親切そうに「救いの手」を差し伸べるのは消費者信用や貧困ビジネス等であって、人びともそれにしがみつこうとする。

「失われた二〇年」には、脱貧困への努力の勢いは弱まっており、そうした生活態度を共有して支え合う家族も縮小しきっているにもかかわらず、依然として人びとは貧困を個人で引き受け、また市場の甘言に乗せられてしまう。日雇い派遣から三ヵ月間のパソコン工場勤務となったシュウジさんの喜びと、借金返済計画の皮算用は簡単に裏切られた。再び彼はネットカフェを拠点として不安定な労働へと戻っていったに違いない。戸籍や住民票も不定のまま、日本が誇る母子保健対策さえすり抜けて、飛び込み出産時にだけ立ち現れた貧困は、退院後すぐどこかへ潜ってしまって見えない。労働宿舎や安アパートの火災は今日まで幾度となく繰り返され、その時だけ住人の貧困と住環境の問題がクローズアップされるが、「住むところがないよりまし」とする住人や市場の前で、抜本的な解決の道は遠い。

「失われた二〇年」の中で「発見」された「降格する貧困」への処方箋は、自立支援や伴走型支援であった。いずれも、貧困のただ中にある人びとの「意欲」を喚起し、制度による支援によって、再び市場に参加して仕事ができるようになることが目論まれている。だが、貧困の責任をつねに個人に押し付け、市場や企業によって貧困が常に不可視化される中で、貧困者の「自立」を促すというのは奇妙な構図である。なぜなら、彼らの多くは、すでに何とかしようと努力してきたからである。しかもその果てに、旧産炭地区での被保護世帯について上野英信が述べたように、「およそ「意欲」だとか「欲望」だとかという名をもって呼ばれるものの一切が、それこそ粉微塵に破壊されつくしている」(上野

1960: 184) とすれば、こうした施策が何の役に立つか分からぬ。

「自立」支援という政策目標は、個人の怠惰が貧困を生むという、きわめて古典的な理解に基づいている。だが問題は、怠惰ではないのだ。貧困を個人が引き受けることをよしとする社会、そうした人びとをブラック企業も含めた市場が取り込もうとする構図の中では、意欲や希望も次第に空回りし始め、その結果意欲も希望も奪いさらっていく。だから問題は、「自立」的であろうとしきることであり、それを促す社会の側にある。

奇妙といえば、子どもの貧困対策もそうである。この政治戦略の根底には「少子化」への不安がある、たとえば、子どもの貧困が注目されても、「児童手当」が家族の日常生活費に回されることへの強い警戒心があるなど、ちぐはぐさが目立つ。もちろん、望まない妊娠に戸惑う貧困女性、風俗の寮を転々とする母子などの存在が視野に入っているとは思えない。つまり、「子どもの貧困」対策において、子どもの養育と親の貧困というトータルな見方が希薄であるだけでなく、今日のライフサイクル全体と貧困との関係を問い合わせる視点がないのが奇妙なのである。いいかえれば、「子どもの貧困」対策の大合唱があっても（具体的な施策は貧困ではあるが）、養育期の家族の貧困は、依然として個人的な対処と市場での一時的な解決という、日本の構図の中にあることであろう。そこへ切り込む政策がなければ、子どもへの「投資」が貧困の循環を断つきっかけになるかどうかは定かでない。

確かに、「失われた二〇年」において次々と提唱された、「若者の貧困」、「子どもの貧困」、「下流老人」といった年代別の貧困の「かたち」は、それに対応する政策、特に若者と子どもを対象とする貧困対策を引き出しあした。だが、それらは実質的には、世代間の分断を引き起こす側面があり、一定の財源を、高齢者から若年層へと振り分ける結果にしかなっていない。

こうして、こんにちの貧困問題の核心は、個人的対処を賞賛し、貧困を覆い隠す市場の装置を放置しつつ、「自立」支援や「子どもの貧困」対策をふりかざす政治にあると言うべきであろう。「マージナルな貧困」のコントロールに成功せず、そこに「降格する貧困」が重なり合っているのも、こうした状況をよしとしてきた政治秩序の責任といえる。もし、本気で貧困問題を解決したいとするなら、日本の構図に追い込まない積極的な貧困対策が、自立支援の前に必要である。「積極的」という意味は、個人の対処や市場による吸引を制限し、それらの構図に対抗する「強い」社会政策を打ち出すということである。^②

出典：岩田正美著『貧困の戦後史：貧困の「かたち」はどう変わったのか』筑摩書房、2017年、pp.322-326。

問1．下線①の「市場の装置」とは何か。文中の言葉を用いて、100字以内で説明しなさい。

問2．下線②の「個人の対処や市場による吸引を制限し、それらの構図に対抗する『強い』社会政策」は、どのようなものであるか。具体例と、取り上げた政策がなぜ貧困対策として有効なのかも含めて、200字以内で説明しなさい。

問3．「貧困者はもう十分『自立的』であり、それが問題なのだ」という筆者の主張について、何が問題とされているのかを簡潔にまとめた上で、この主張に対するあなたの考えを述べなさい（字数は問いません）。

2023 年度 国際経営学科

英 語

〔自己推薦 A O (A)〕 14-J1

注 意

1. 監督者の合図があるまで問題冊子は開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙のきめられた箇所に記入してください。

Read the passage and answer the questions that follow.

For some people, there is an irony* to success. Many people who achieve great success don't always feel it. Some who achieve fame talk about the loneliness that often goes with it. That's because success and achievement are not the same thing, yet too often we mistake one for the other. Achievement is something you reach or attain, like a goal. It is something tangible, clearly defined and measurable. Success, in contrast, is a feeling or a state of being. "She feels successful. She *is* successful," we say, using the verb *to be* to suggest this state of *being*. While we can easily lay down a path to reach a goal, laying down a path to reach that intangible feeling of success is more elusive*. In other words, achievement comes when you pursue and attain WHAT you want. Success comes when you are clear in pursuit of WHY you want it. The former is motivated by factors that we can see and touch while the latter by something deeper in the brain, where we lack the capacity to put those feelings into words.

Success comes when we wake up every day in that never-ending pursuit of WHY we do WHAT we do. Our achievements, WHAT we do, serve as markers to indicate we are on the right path. It is not an either/or — we need both. A wise man once said, "Money can't buy happiness, but it pays for the yacht to pull alongside ⑦ it." There is great truth in this statement. The yacht represents achievement; it is easily seen and, with the right plan, completely attainable. The thing we pull alongside represents that hard-to-define feeling of success. Obviously, this is much harder to see and attain. They are distinct concepts, and sometimes ⑧ they go together and sometimes they don't. More importantly, some people, while in pursuit of success, simply mistake WHAT they achieve as the final ⑨ destination. This is the reason they never feel satisfied no matter how big their yacht is, no matter how much they achieve. The false assumption we often make is that if we simply achieve more, the feeling of success will follow. But it rarely does.

In the course of building a business or a career, we become more confident in WHAT we do. We become greater experts in HOW to do it. With each achievement,

the tangible measurements of success and the feeling of progress increase. Life is good. However, for most of us, somewhere in the journey we lose sight of WHY we set out on the journey in the first place. Somewhere in the course of all those achievements an inevitable split happens. This is true for individuals and organizations alike... Those with an ability to never lose sight of WHY, no matter how little or how much they achieve, can inspire us.

Excerpt(s) from START WITH WHY: HOW GREAT LEADERS INSPIRE EVERYONE TO TAKE ACTION by Simon Sinek, copyright © 2009 by Simon Sinek. Used by permission of Portfolio, an imprint of Penguin Publishing Group, a division of Penguin Random House LLC. All rights reserved.

*irony 皮肉

*elusive つかみどころのない

For Q1~Q6, write the letter (a, b, c, or d) of the best answer on the answer sheet.

Q1. What is the main point of the passage?

- a. Achievement and success are often mistaken for one another.
- b. Everyone should try to be successful.
- c. It's important not to forget why we strive to achieve and succeed.
- d. You cannot have success without achievements.

Q2. The purpose of the text is to _____.

- a. argue
- b. describe
- c. inform
- d. persuade

Q 3 . Which of the following is an example of achievement?

- a . Being disappointed.
- b . Feeling satisfied.
- c . Passing a test.
- d . Pursuing success.

Q 4 . What can we infer from the text?

- a . The more we achieve, the more successful we are.
- b . Some people who have achieved a lot do not feel successful.
- c . Success is part of the brain.
- d . The journey to success is long.

Q 5 . What is true about success and achievement?

- a . It is easy to reach both.
- b . The more you achieve, the more successful you feel.
- c . They are very different.
- d . You cannot have one without the other.

Q 6 . Which of the following is the best title for the text?

- a . Achievement vs. Success
- b . Achievement is What While Success is Why
- c . Success Every Day
- d . The Journey to Success

For Q7~Q9, write the answer on the answer sheet.

Q 7 . What does ⑦ it refer to?

Q 8 . What does ⑧ they refer to?

Q 9 . What *two* words in the text are used to mean ⑨ destination?

For Q10, write your answer on the answer sheet.

Q10. Write an essay of at least 150 words describing an achievement you have attained and whether you felt successful or not after achieving it.

2023 年度 消費情報環境法学科

英 語

〔自己推薦 A O (A)〕 14-J1

注 意

1. 監督者の合図があるまで問題冊子は開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙のきめられた箇所に記入してください。

[I] バイオプラスチックについて書かれた以下の文章を読み、設問に答えなさい。

(1) A British firm says it has produced the world's first bioplastic vinyl record, which it hopes will reduce the need for highly toxic PVC.

Bioplastics are derived from sources such as sugars and starches — rather (①) oil or gas — and do not create any toxic waste in their production.

The new bioplastic vinyl by UK firm Evolution has been endorsed by (2) NGO Music Declares Emergency, a climate change campaign group set up in 2019 by artists and music industry professionals.

“If Evolution can deliver an alternative guilt-(②) vinyl, it could get (③) one of the key polluting elements of the music industry completely,” the NGO’s co-founder Lewis Jamieson told AFP.

Currently, all vinyl records are made from Polyvinyl chloride, or PVC — described by Greenpeace as “the most environmentally damaging plastic”, whose production release, chlorine-based chemicals that are “building up in the water, air and food chain”.

The issue has come to the fore thanks to the recent boom in vinyl sales — which surpassed \$1 billion last year in the United States alone (a first since the mid-1980s).

(3) Few anticipated the vinyl revival that began in the mid-2000s, so record companies found themselves scrambling to secure PVC — often relying on foreign firms with poor safety records.

Kyle Devine, who wrote a book on the environmental impact of the music industry, “Decomposed”, said the PVC for 90 percent of U.S. vinyls in 2015 came from a Thai company that was “pouring pollution into the Bangkok river”.

“PVC is an especially nasty plastic (④). It’s a difficult one to dispose of, to recycle or decompose,” he told AFP.

He added that it would be wrong to see the current dominance of streaming and digital music as an answer to the industry’s climate impact.

“Digital data still takes up space and uses energy. In fact, (⑤) the current size and spread of the music industry, it’s likely more environmentally-taxing than

(⑥) before," Devine said.

Evolution released the first 20 records made with the bioplastic via a prize draw — a compilation of young artists including electro duo Bicep and U.S. singer Angel Olsen.

It (⑦) almost five years of testing due to delays caused by the COVID pandemic, but the firm says they are close to matching regular records.

"It presses the same as PVC," said co-founder Marc Carey. "The final piece of the puzzle is there is a (⑧) of surface noise when you play the record so we are working on that. We think we are two weeks away from finalizing the recipe."

Music Declares Emergency is clear that changing the production of vinyl records will do little for the bigger picture on climate change, but Jamieson said such innovations were symbolically important.

"It reminds people that (⑨) sustainability doesn't mean you have to live in a mud hut and have (⑩) fun," he said.

[単語解説]

firm : 会社, bioplastic : バイオプラスチック (生物由来の資源を原料にしたプラスチック), vinyl : ビニール, record : アナログレコード盤, toxic : 有毒な, PVC : ポリ塩化ビニル, starches : でんぶん, Evolution : 音楽会社の名前 (正式名は "Evolution Music"), endorse : 支持する, NGO : 非政府組織, co-founder : 共同創設者, AFP : フランス通信社, Greenpeace : 国際環境NGO グリーンピース, surpass : 超える, vinyl revival : ビニール製アナログレコード盤の人気復活, compilation : 音楽アルバムの編集, mud hut : 泥壁の小屋

出典 : Eric Randolph, "World's first bioplastic vinyl record launched in UK," *Japan Today* <<https://japantoday.com/category/tech/world's-first-bioplastic-vinyl-record-launched-in-the-uk>> (July 21, 2022).

問1 ①～⑩に入れる最も適切な語句を、それぞれ示された選択肢の中から一つ選んで書きなさい。

- | | |
|------------------------------------|----------------------------------|
| ① (than, to, as) | ② (in, out, free) |
| ③ (taken off, escape from, rid of) | ④ (to make, made in, making) |
| ⑤ (given, while, if) | ⑥ (more, ever, never) |
| ⑦ (takes, took, has taken) | ⑧ (little bit, small bits, fews) |
| ⑨ (thinks, thinking, thought) | ⑩ (never, no, neither) |

問2 下線部(1)を日本語に訳しなさい。

問3 下線部(2)がどういう組織か、問題文中に書かれていることを日本語で説明しなさい。

問4 下線部(3)を日本語に訳しなさい。

問5 この問題文では、音楽業界がバイオプラスチックを取り入れることが地球温暖化にどのような意味を持つと述べられているか、100字以内の日本語で説明しなさい。

[Ⅱ] 次の各文の空所に入る最も適切な英単語を書きなさい。

- (1) It is not only a legal problem [] a moral one.
- (2) She mentioned a movie, the title of [] I cannot remember.
- (3) [] been brought up in a small village, he cannot adapt to this fast-paced city.
- (4) I cannot afford the time, to say [] of the money.
- (5) Weather [], we will be able to see an eclipse of the moon tonight.

[Ⅲ] 次の文章を英語に訳しなさい。

- (1) その法律上の問題は、考えれば考えるほど、難しいもののように思えた。
- (2) それを聞くと彼らは怒るだろうから、あなたはそれを言わないでおくのが賢明でしょう。
- (3) 東京2020オリンピックで、東京スタジアムへサッカーの試合を見に行っていたらよかったですのに。

2023 年度 グローバル法学科

英 語

〔自己推薦 A O (A)〕 14-J1

注 意

1. 監督者の合図があるまで問題冊子は開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙のきめられた箇所に記入してください。

I. フェアトレードと男女格差に関する次の文章を読んで、文末の各間に答えなさい。

Fairtrade's vision is a world in which all producers can enjoy secure and sustainable livelihoods, fulfil their potential and decide on their futures. Although the term '(①)' encompasses women as well as men, it is not always clear if or how Fairtrade considers gender when developing gender sensitive strategies, policies and operations. In fact, due to its focus on export or 'cash' crops, Fairtrade may even be unintentionally reinforcing existing gender inequalities in the agricultural sector.

Women and girls are undeniably key actors in the agricultural sector. However, women have less access to productive resources such as land, information, credit and technical assistance — resulting (ア) the 'gender gap' in agriculture. Increasing concerns about food insecurity and how to feed a growing population have renewed the focus on how productivity and overall production could be boosted by giving (②) the same access to productive resources as men. The Food and Agriculture Organization of the United Nations estimates that closing the gender gap in agricultural yields would reduce the number of undernourished people by 100-150 million, and could increase agricultural output in developing countries by between 2.5 and 4 percent.

There are three main (③) for addressing gender inequalities. The 'justice' argument recognizes gender equality as a valid objective in itself, following a rights-based approach. The 'business' argument equates gender equality with productivity and economic growth, creating a 'smart economics' angle which is gaining traction among global organizations like the World Bank. A third argument is that addressing gender inequality is also important from a societal point of view in order to achieve wider objectives such as the Millennium Development Goals (MDGs) and their successors the Sustainable Development Goals (SDGs).

However, despite a general consensus on the benefits of addressing gender (II)

inequality, ongoing interventions have not brought about the needed improvements and transformation. In addition, a considerable body of research looking at the links between economic development and the complex issue of women's empowerment indicates that interventions have to go (①) merely increasing the economic opportunities available to women.

Export crops such as coffee, cocoa, tea, cotton, bananas, flowers and sugar constitute the vast majority of Fairtrade products. Even though women are often heavily involved in growing, harvesting and processing, their work is seldom fully recognized and rewarded. On export crop plantations women are often present in large numbers, but in lower paid, less regular and less secure work, due to widespread gender discrimination in recruitment, training and employment policies. As a result they tend to be less able and willing to join worker organizations — such as trade unions — which in turn tend to replicate gender biases.

In the case of smallholder production, women and girls often work as unpaid labourers on family farms and have little control over the income derived from export crop sales. They make up a large proportion of 'hidden' and family workers, and consequently are excluded from labour force data and/or services. Also, as women frequently do not own land titles, they may be unable to join producer organizations and access the services they provide, even when they have full responsibility (②) household production. When women do join farmer and worker organizations, they rarely occupy leadership positions, and their needs and voices are not heard. They also
⁽ⁱⁱⁱ⁾tend to have less access to government support, because of persistent biases in favour
of male farmers.

Up to the present, gender analysis has not been systematically included in studies (internal and external) on the impact of Fairtrade, and so there is insufficient evidence to understand how Fairtrade is impacting on women and girls in comparison to (④). Several studies have shown that Fairtrade can and does bring positive benefits to women, for example by increasing their economic opportunities, including

production of export crops; by enhancing their participation (エ) producer organizations; and by investing in social infrastructure. However, there are also concerns that Fairtrade may not be challenging — or in some cases may even be reinforcing — gender imbalances.

出典：Fairtrade International, Gender Strategy: Transforming Equal Opportunity, Access and Benefits for all, 2016-2020. ※一部改変あり

注：Fairtrade(フェアトレード) 立場や競争力の弱い発展途上国の生産者や労働者の自立や貧困改善等を目的として、原料や製品を継続的に適正・公正な価格で取引すること。

Food and Agriculture Organization of the United Nations 国際連合食料農業機関, undernourished 栄養不良の, societal 社会的・社会的な, smallholder 小規模農家

問1 (ア)～(エ) および (①)～(④) に適切な語を入れなさい。なお、(ア)～(エ)には前置詞が入るものとする。また、④のみ3語（ほかは全て1語）入るものとする。

問2 下線部(I), (II), (III)を和訳しなさい。

問3 以下の記述のうち、本文の趣旨に沿う内容のものには○を、本文の趣旨と異なる内容のものには×を書きなさい。

- (A) フェアトレードは、世界規模で実現できれば必ず男女格差や性差別の解消に繋がるので、積極的に推進すべきである。
- (B) フェアトレードが男女格差に与える影響についての研究は不十分である。
- (C) 農業分野で女性は一定の役割を果たしていると言えるが、男性に比べると力や作業量では及ばないため、ある程度の男女格差はやむを得ない側面もある。
- (D) 男女格差を解消できれば、農作物の生産量が増加する可能性があることを示唆するデータが存在する。
- (E) フェアトレードは、農業分野における男女格差を解消するどころか、助長してしまう可能性もある。
- (F) 小規模農業においては、女性は男性と同じくらい中心的な役割を果たしており、給与や労働条件も、大規模農場と比較して恵まれていることが多い。
- (G) 男女格差の解消は、MDGsにおける重要目標の一つに掲げられていたが、一定の成果が見られたことで、SDGsからは除外されることになった。
- (H) フェアトレードが女性の地位向上に繋がるとする研究成果がある。

II. あなたの身近にある男女格差・性差別問題を1つ取り上げ、それに対してどのように取り組むべきか、あなたの意見を80~100語（80~100 words）の英文で述べなさい。

2023 年度 国際学科

英 語

〔自己推薦 A O (A)〕 14-J1

注 意

1. 監督者の合図があるまで問題冊子は開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙のきめられた箇所に記入してください。

Section A

Read the following passage and summarize the content in Japanese. Write between 350-400 characters.

The Nobel Peace Prize that Russian journalist Dmitry Muratov was auctioning off to raise money for Ukrainian child refugees has sold for \$103.5m (£84.5m), shattering the record for a Nobel.

"I was hoping that there was going to be an enormous amount of solidarity," Muratov said after the sale. "But I was not expecting this to be such a huge amount."

Previously, the most ever paid for a Nobel prize medal was in 2014, when James Watson, whose co-discovery of the structure of DNA earned him a Nobel prize in 1962, sold his medal for \$4.76m. Three years later, the family of his co-recipient, Francis Crick, received \$2.27m in bidding run by Heritage Auctions*, the same company that auctioned off Muratov's medal on Monday, World Refugee Day.

Muratov, who was awarded the gold medal in October 2021, helped found the independent Russian newspaper Novaya Gazeta and was the publication's editor-in-chief when it shut down in March amid the Kremlin's clampdown* on journalists and public dissent* in the wake of Russia's invasion of Ukraine.

It was Muratov's idea to auction off his prize, having already announced he was donating the accompanying \$500,000 cash award to charity. The idea of the donation, he said, "is to give the children refugees a chance for a future."

Muratov has said the proceeds* will go directly to Unicef in its efforts to help children displaced by the war in Ukraine. Melted down, the 175 grams of 23-karat gold contained in Muratov's medal would be worth about \$10,000.

The medal was sold to an unidentified phone bidder. The auction in New York City was spirited, with lots of applause and bidders egging* one another on to increase the total. Muratov was seen recording videos of the bidding screen and those in the room.

When the final bid came in, at tens of millions of dollars more than the previous offer, many in the room expressed shock, including Muratov. “I’m just like you in that regard,” he said through a translator after the sale.

Asked why he chose Unicef as the recipient of the funds, Muratov said: “It’s critical to us that that organization does not belong to any government. It can work above government. There are no borders for it.”

In an interview with the Associated Press before the auction, Muratov said he was particularly concerned about children who have been orphaned because of the conflict in Ukraine. “We want to return their future,” he said.

He added that it was important international sanctions* levied* against Russia did not prevent humanitarian aid, such as medicine for rare diseases and bone marrow transplants*, from reaching those in need.

“It has to become a beginning of a flashmob* as an example to follow so people auction their valuable possessions to help Ukrainians,” Muratov said in a video released by Heritage Auctions, which handled the sale but is not taking any share of the proceeds.

Muratov shared the Nobel Peace Prize last year with journalist Maria Ressa of the Philippines. The two journalists, who each received their own medals, were honoured for their battles to preserve free speech in their respective countries, despite coming under attack by harassment, their governments and even death threats.

Muratov has been highly critical of Russia's 2014 annexation of Crimea and the war launched in February that has caused nearly 5 million Ukrainians to flee to other countries for safety, creating the largest humanitarian crisis in Europe since the second world war.

Independent journalists in Russia have come under scrutiny* by the Kremlin, if not been outright targets of the government. Since Putin came into power more than two decades ago, nearly two dozen journalists have been killed, including at least four who had worked for Muratov's newspaper.

In April, Muratov said he was attacked with red paint while aboard a Russian train.

Muratov left Russia for western Europe on Thursday to begin his trip to New York City, where live bidding began on Monday afternoon. Online bids began on 1 June to coincide with the International Children's Day observance.

As of early Monday, the high bid was \$550,000. The purchase price had been expected to spiral upward, but not over \$100m.

"I can't believe it, I'm awestruck*," Joshua Benesh, the chief strategy officer for Heritage Auctions, said after the auction. "Personally, I'm flabbergasted*... I don't really know what happened in there."

"We knew that there was a tremendous groundswell* of interest in the last couple of days by people who were moved by Dmitry's story, by Dmitry's act of generosity, that the global audience was listening tonight."

Since its inception in 1901, there have been nearly 1,000 recipients of the Nobel prizes honouring achievements in physics, chemistry, physiology or medicine, literature and

the advancement of peace.

(805)

Adapted from Nobel sold for Ukrainian kids shatters record at \$103.5M by Bobby Caina Calvan, from Associated Press, Jun 21, 2022.

<https://www.theguardian.com/world/2022/jun/21/nobel-peace-prize-auctioned-by-russian-journalist-dmitry-muratov-fetches-record-1035m>

*Heritage Auctions：オークション会社の名前

*clampdown：取り締まり

*public dissent：国民の反対

*proceeds：収益

*egging on：けしかける

*sanctions：制裁

*levied：徴収

*bone marrow transplants：骨髄移植

*flashmob：インターネットの呼びかけで多数の人間が集団行動をすること

*scrutiny：精査

*awestruck：感動した

*flabbergasted：驚いた

*groundswell：高まり

Section B. Write an essay in English that respond to the following questions. Write between 250-300 words.

Many young Japanese people are disinterested in politics and voter turnout for young people is low. This is unfortunate because it could prevent the government from putting into place policies that benefit the young generation such as an increase in spending for education and for support of young families with children. What are some reasons why young people in Japan are not interested in politics and voting? What can be done to make them interested?

2023年度 フランス文学科

英 語

〔自己推薦A O(A)〕 14-J1

注 意

1. 監督者の合図があるまで問題冊子は開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙のきめられた箇所に記入してください。

I 次の文を読み、以下の間に答えなさい。

When I go into a bank I get frightened. The clerks frighten me; the desks frighten me; the sight of the money frightens me; everything frightens me. The moment I pass through the doors of a bank and attempt to do business there, I become an irresponsible fool.

I knew this before, but my salary had been raised to fifty dollars a month and I felt that the bank was the only place for it.

So I walked unsteadily in and looked round at the clerks with fear. I had an idea
(1)
that a person who was about to open an account must necessarily speak to the
manager.

I went up to a desk marked "Accountant". The accountant was a tall, confident devil. The very sight of him frightened me. My voice sounded as if it came from the grave.

'Can I see the manager?' I said, and added, 'Alone.' I don't know why I said 'alone'.

'Certainly,' said the accountant, and brought him.

The manager was a calm, serious man. I held my fifty-six dollars, pressed together in a ball, in my pocket.

'Are you the manager?' I said. God knows, I didn't doubt it.

'Yes,' he said.

'Can I see you,' I asked, 'alone?' I didn't want to say 'alone' again, but without this word the question seemed senseless.

The manager looked at me with some anxiety. He felt that I had a terrible secret to tell.

'Come in here,' he said, and led the way to a private room. He turned the key in the lock.

'We are safe from interruption here,' he said. 'Sit down.'

We both sat down and looked at each other. I was speechless. I did not know what to say next.

'You are one of Pinkerton's* detectives, I suppose,' he said.

My mysterious manner had made him think that I was a detective. I knew what
⁽²⁾he was thinking, and it made me worse.

'No, not from Pinkerton's,' I said, seeming to mean that I was a detective but was not from Pinkerton's.

'To tell the truth,' I went on, as if someone had urged me to tell lies about it, 'I am not a detective at all. I have come to open an account. I intend to keep all my money in this bank.'

The manager looked relieved but still serious; he felt sure now that I was a very rich man, perhaps a member of the Rothschild family.

'A large account, I suppose,' he said.

'Fairly large,' I whispered. 'I intend to place in this bank the sum of fifty-six dollars now and fifty dollars a month regularly.'

He got up, opened the door and called to the accountant.

'Mr Montgomery,' he said, in an unkindly loud voice, 'this gentleman is opening an account. He will place fifty-six dollars in it. Good morning.'

I stood up.

A big iron door stood open at the side of the room.

'Good morning,' I said, and walked into the safe.

'Come out,' said the manager coldly, and pointed me in the direction of a second door.

I went up to the accountant's desk and pushed the ball of money at him with a quick, sudden movement as if I were performing a sort of trick. My face was terribly pale.

'Here,' I said, 'put it in my account.' The sound of my voice seemed to mean, 'Let us do this painful thing while we still feel that we want to do it.'

He took the money and gave it to another clerk.

He made me write the sum on a piece of paper and sign my name in a book. I no longer knew what I was doing. The bank seemed to swim before my eyes.

'Is it in the account?' I asked in a hollow, shaking voice.

'It is,' said the accountant.

'Then I want to write a cheque.'

My idea was to take out six dollars of it for my present use. Someone gave me a chequebook and someone else began telling me how to write it out. The people in the bank treated me like a man who owned millions of dollars, but was unwell. I wrote something on the cheque and pushed it towards the clerk. He looked at it.

'What! Are you taking it all out again?' he asked in surprise. Then I realized that I had written fifty-six dollars instead of six. I was too upset to explain my mistake. All the clerks had stopped writing to look at me.

I had to make a decision.

'Yes, the whole thing.'

'You wish to take your money out of the bank?'

'Every cent of it.'

'Are you not going to put any more in the account?' said the clerk, surprised.

'Never.'

A foolish hope came to me that they might think something had offended me while
(4)
I was writing the cheque and that I had changed my mind. I made a useless attempt
to look like a man with an extremely quick temper.

The clerk prepared to pay the money.

'How will you have it?' he said.

'What?'

'How will you have it?'

'Oh' — I understood his meaning and answered without even thinking about it —
'in fifty-dollar notes.'

He gave me a fifty-dollar note.

'And the six?' he asked coldly.

'In six-dollar notes,' I said.

He gave me six dollars and I rushed out.

As the big door swung behind me I heard the sound of laughter rising to the

ceiling of the bank. Since then I no longer use a bank. I keep my money in my trouser
⁽⁵⁾
pocket and my savings in silver dollars in a sock.

LAWRENCE D., ET AL; BRITISH AND AMERICAN SHORT STORIES: LEVEL 5
(PENGUIN READERS) (GRADED READERS), 2nd edition, © 2008;
Reprinted by permission of Pearson Education Limited

* Pinkerton's : a well known American firm of detectives

問 1 下線部(1)を日本語に訳しなさい。

問 2 下線部(2)の 'My mysterious manner' とは、具体的にどんな立ち振る舞いのことを
言っていますか。説明しなさい。

問 3 下線部(3)を日本語に訳しなさい。

問 4 下線部(4)を日本語に訳しなさい。

問 5 下線部(5)について、5行程度の英語であなたの見解を自由に述べなさい。

2023 年度 英文学科

小論文

〔自己推薦 A O (B)〕 15-02

注 意

1. 監督者の合図があるまで問題冊子は開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙のきめられた箇所に記入してください。

<論題> 次の設問に300語～500語程度の英語で答えなさい。

The field of Artificial Intelligence (AI) is recently undergoing remarkable development. What roles for human beings in the past can be replaced by AI, and what roles cannot? Give your ideas with concrete examples. Also, when we consider the recent developments in AI, what preparations for a future job should a university student conduct in current university life? Give your ideas and supporting reasons.

2023 年度 国際キャリア学科

論 文

〔自己推薦 A O (B)〕 15・26-03

注 意

1. 監督者の合図があるまで問題冊子は開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙のきめられた箇所に記入してください。

Part 1. Summary of the Reading Passage

Students may respond in English (Option A) or in Japanese (Option B).

Option A.

Summarize the main points of the article in English. Your summary should be between 100 and 200 words in length.

Option B.

Summarize the main points of the article in Japanese. Your summary should be between 100 and 200 characters (字) in length.

Reading Passage

*Inequalities persist across generations — children who grow up in poverty are likelier than their middle-class peers to end up poor and in ill health as adults. But demography isn't destiny.

*Social safety net programs, including quality early education, *food stamps and *Medicaid, can change the trajectory of children's lives. What's even more important, a spate of recent studies shows that the benefits stemming from these programs *reverberate into the next generation, breaking the cycle of poverty.

The long-term impact of *prekindergarten is well established and widely known. That's why it's high on the national political agenda.

Half a century ago, 123 three- and four-year-olds, all of them African American and all from low-income families who lived on the wrong side of the tracks in *Ypsilanti, Mich., participated in an *experiment. About half attended a pioneering early education program called *Perry Preschool, while the *control group did not have the same opportunity. Remarkably, researchers have been able to track the lives of most of these children ever since. The fact that lifelong benefits — including greater academic success, higher earnings and better health — began with two years of high-quality preschool has commanded widespread attention.

A study published this summer by *Nobel Prize-winning economist James

Heckman and his colleagues takes the implications of Perry a giant step further. This research demonstrates that the children of the Perry preschoolers are also better off because of their parents' experience.

As the Perry preschoolers grew up, they became better educated and developed greater socio-emotional skills than the *control group. They became better parents — their children grew up in more stable two-parent families that earned, on average, about \$10,000 more a year — enough to lift many of them out of poverty.

This healthy upbringing has had a prolonged impact on the children of the Perry preschoolers. Compared to the offspring of the *control group, they were substantially less likely to have been suspended or assigned to special education, and more likely to have graduated from high school. Now in their 20s, they're more likely to have jobs and be in good health and less likely to be divorced.

The bottom line: Good early education accelerates upward social mobility across generations.

A flurry of studies demonstrates that the reverberations of other safety-net programs also echo in the next generation.

Case in point: expanding *Medicaid *eligibility for low-income families. In a recent American Economic Review article, Andrew Goodman-Bacon, an economist at the Federal Reserve Bank, concludes that, as much as a half-century later, early childhood *Medicaid *eligibility reduces mortality and disability, increases employment and improves health. Since its inception in the 1960s, “Medicaid has saved the government more than its original cost and saved more than 10 million quality adjusted life years.”

<omitted (中略)>

Recent research shows that the *food stamp program has had a decades-long effect on the health, *economic self-sufficiency and the overall well-being of children who came of age in those families. These children are more likely to graduate from high school and enroll in college, earn more and stay out of prison.

<omitted (中略)>

While statistics can be numbing, the bottom line deserves headline attention — in

the long term, social safety net programs for families with young children reduce the need for government support over the course of two generations.

<omitted (中略)>

(Adapted from “A Way to Break the Cycle of Poverty” by David L. Kirp, Opinion, Guest Essay, The New York Times. December. 2, 2021. <https://www.nytimes.com/2021/12/02/opinion/politics/child-poverty-us.html>)

*Inequalities 不平等 *Social safety net programs 社会保障制度

*food stamps 食料費補助対策 *Medicaid 医療保険制度

*reverberate 響き渡る *prekindergarten プレキンダー（幼稚園前のクラス）

*Ypsilanti, Mich. ミシガン州のイプシランティ *experiment 社会実験

*Perry Preschool 1962年1967年にかけてアメリカで行われた就学前教育の社会実験

*control group 実験に参加していない子どもたちを意味

*Nobel Prize-winning economist ノーベル賞受賞経済学者

*eligibility 資格 *economic self-sufficiency 経済的な自立

Part 2. Response in English to the Reading Passage

What do you think about the way to break the cycle of poverty discussed in the Reading Passage (Part 1)? Your response should be written in English and be between 300 and 500 words in length.

Part 3. Short Essay

Select one essay question from the three choices and write your response. Provide clear examples to support your view. Your answer should be between 300 and 500 words in length.

- 3a. The Japanese government has relaxed its mask-wearing guidance, now recommending that individuals wear masks only when conversing within 2 meters of each other. Even after the new guidelines were outlined, many people in Japan continue wearing them in public in any situation. By contrast, in some other countries that issued similar mask-wearing guidance, a substantial number of people start to take off masks outside. What reasons can you identify for the country difference regarding mask usage?
- 3b. It has been found that fashion accounts for more portion of global carbon emissions than all international flights and shipping combined would do. Particularly, some mass-market retailers that rapidly produce high volumes of inexpensive and trendy clothing have been criticized for their extensive damage to the planet. What can customers, fashion industries, and/or governments do to lessen the harm to the environment?
- 3c. Since the COVID-19 pandemic outbreak, many colleges and universities have moved to digital distance learning all over the world. What are the advantages and disadvantages of remote education for students?